

算数オンライン塾 7月21日の問題 解説

(1) 大特価品は $50-5-20-5=20$ 個です。

利益が 14000 円出たので、

売り上げは $3000 \times 50 + 500 \times 5 + 14000 = 166500$ 円

定価は 4500 円、特価品は 4050 円だから、

$4500 \times 5 + 4050 \times 20 = 22500 + 81000 = 103500$ 円

したがって大特価品の売り上げは $166500 - 103500 = 63000$ 円

$63000 \div 20 = 3150$ 円ですから、 $4500 - 3150 = 1350$ 円引いてあるので、

$1350 \div 4500 = 0.3$ から 3 割引きです。

(答え) 3割

(2) 特価品までで、売り上げは 103500 円です。定価の 2 割引きで売った数を【1】

とすると $103500 + 3600 \times \text{【1】} = 150000 + 500 \times (25 - \text{【1】})$

$103500 + \text{【3600】} = 162500 - \text{【500】}$

$\text{【4100】} = 59000$

$\text{【1】} \div 14.39 \dots$ より 15 個以上売れば良いことになります。

(答え) 15 個